



KONICA MINOLTA

コニカミノルタの葉緑素計

SPAD-502の新型が登場しました。



KONICA MINOLTA

SPAD-502Plus



約25年にわたり、各種の農作物の発育状況の把握や追肥量の管理に、世界中で幅広く使用されてきたコニカミノルタSPADシリーズ。測定データの互換性を維持し、グラフ表示をはじめとする機能性を向上させつつ、重量をさらに軽量化させた、SPAD-502Plusが新登場。



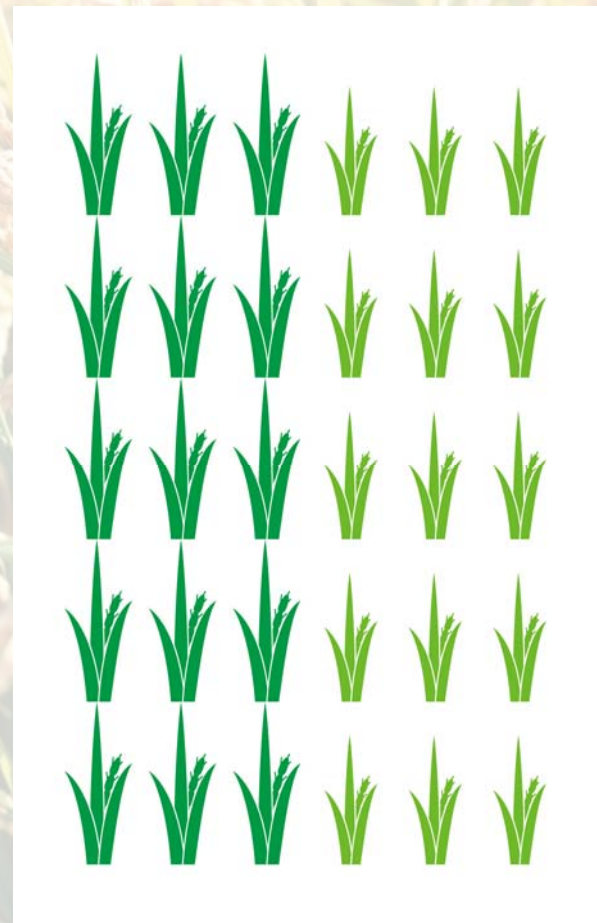
葉緑素計とは

- **葉に含まれる葉緑素の量を知ることによって作物の栄養状態がわかります。**
- **SPAD-502Plusは作物を傷つけずに瞬時に葉緑素の量を測ることができます。**
- **栄養状態がわかることで、適切な施肥管理が可能になります。**

**発育の各段階で適切な
栄養状態が管理できます。**



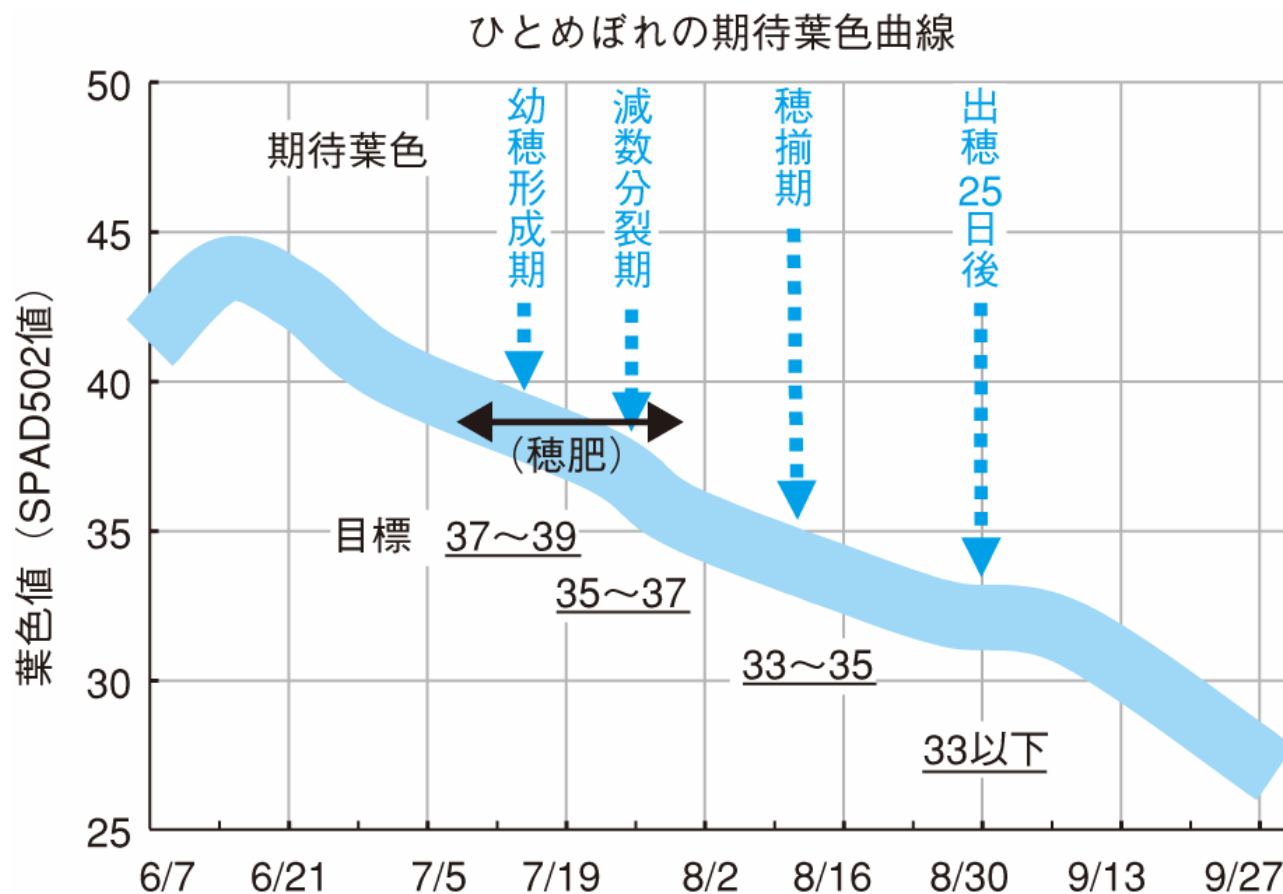
**耕作地のエリア毎の栄養
状態をモニターできます。**



**適切な発育段階に
適度な施肥が重要です。**

**適度の施肥が、収穫量だけでなく、品質にも影響を及ぼします。
また、施肥効率を追求することで、昨今高騰する肥料費用の削減という
経済性や、過剰施肥による環境負荷の低減に効果を発揮します。**

追肥を必要とする減数分裂期には、SPAD値が35～37程度に落ち込むため、追肥(穂肥)が必要と考えることができます。



宮城県農林水産部農業振興課



KONICA MINOLTA

すばやく簡単に測定できます

電源スイッチオン

植物をはさむ

“ピッ”と鳴ったら測定完了





トレンドグラフが表示できます

測定データの時系列変化や、異常値の判断を一目で確認することができます。



持ち運びに便利な小型・軽量タイプ

ポケットにも入るコンパクトサイズですから、
戸外での持ち運びにも便利。
重さはわずか200g。



防水機能を備えています

IPX 4(水の浸入に対する保護等級が4)ですから、雨の中での測定も可能です。

省エネ設計です

発光ダイオード(LED)光源の採用により、消費電力が少なく長寿命。単3形アルカリ電池2本で20,000回以上の測定が可能です。

各種の警告機能

各種警告機能を備えており、電池の残量などを液晶表示やブザー音で知らせます。





KONICA MINOLTA

SPAD-502は、世界中の様々な作物の測定で活躍しています



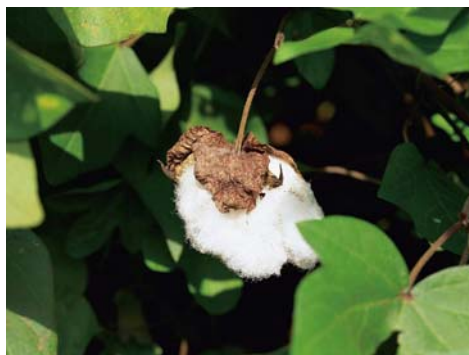
稲



麦



その他実績多数



綿



とうもろこし



KONICA MINOLTA